

近木川

近木川ワンド計画について

大阪府貝塚市を流れる、二級河川近木川（L = 15 k m）の河口付近（低水路幅 35 m、堤防高 5 m）の旧河川敷（約 4000 m²、L=600 m、二色ノ浜公園未開発地区）を掘り起こし、ワンドにする。護岸を撤去し、自然に任せ、干潟やワンドの再生と多様な生物の回復・生息を促す。また、干潟による河口域の水質改善を期待する。

経緯

近木川は 1993、1997 年水質ワースト 1

1994 年、汽水ワンドを作る会（町会連合会、自然遊学館、グリーンカレッジ、近木っ子探検隊）結成

1999 年、近木川河口改善計画提案 2010 年完成を目指す

2002 年、自然再生事業として、事業化決定（2003 年施工される自然再生推進法のモデルケースとして）

現在

河川事業（事業名 河口干潟再生事業）として、自然再生事業に着手

近木川の河口では前浜干潟が発達中

今後の課題

計画・実験の内容

モニタリング

整備計画の策定期間

自然再生推進法の理念

5 年計画の事業スキーム・各年度事業の内容

今後のスケジュール

近木川水系河川整備計画策定（上流秬谷川治水と河口干潟）

2002 年、市民アンケート、委員会、2003 年、河川懇談会、委員会
実験・調査（潮止め堰～突堤）

摂南大学による模型実験について

目的：建設が予定されている近木川ワンドにおいて、どのような形状・形態の護岸をつくれば、堆砂上、洲や瀬といった多種類の生物が生息するのに適した状態をつくることが出来、長期的にもワンド内全体の堆砂状況が一様な状態におちいらぬのかの予測をたてる。その為には近木川河口部における砂の堆積に影響する要因を見つけ出すことが必要と考える。



写真 模型風景（摂南大学内）